

久慈拓陽支援学校

研究テーマ

キャリア発達を促し支援学校卒業後の生活を支えるに必要な力を育む指導・支援の在り方を求めて
～基礎的・汎用的能力

「キャリアプランニング能力」に焦点を当てて～
(3年次研究：3年目)

1 全校研究

(1) 研究の目的

児童生徒一人一人のキャリア発達を促す力を育む指導・支援の充実、共有を図る。

<目指す姿>

児童・生徒 基礎的・汎用的能力(特にキャリアプランニング能力)が伸び、健康で明るくたくましく生きる力が向上する。

教職員 キャリア教育(キャリア発達の促し)への高い専門性を有し、個々の教育的ニーズに応えて一人一人に必要な力を身に付ける指導・支援の力が高まる。

(2) 令和2年度の実践

①第1回全校研究会(5月8日(金))

- ・本校研究について職員間での共通理解を図ることを目的とし、今年度の校内研究の方向性の確認を行った。また、今年度はキャリアプランニング能力の他、「確かな学力」にも着目し、新学習指導要領の内容に沿った指導実践にも取り組むことを確認した。

②研究授業(12月10日(木))、全校授業研究会(12月11日(金))第2回全校研究会

- ・本校研究に係る研究授業及び授業研究会を通じて、児童生徒一人一人のキャリア発達を促す力を育む指導・支援の充実、共有を図ることを目的として実施した。
- ・研究授業 小学部：生活単元学習
単元名「クリスマス会を楽しもう！～みんなでサンタ大作戦～(6年2組)」

③第3回全校研究会(1月27日(月))

2 各学部研究

(1) 小学部

- ・重複障害学級、低学団、高学団のグループ毎の「目指す児童の姿」の再検討を行い、学部全体についても設定を行った。授業実践をもとに、

指導目標や内容、支援についての協議・検討を行った。

・学部研究授業

重複：音楽・自立活動「鳴らしてみよう」
低：生活単元学習「琥珀博物館に行こう」

(2) 中学部

- ・学部で設定した「目指す生徒の姿」に迫るべく、作業班毎に授業実践をし、学部全体で協議・検討を行った。また、校内販売会や新製品開発、作業内容変更、ご苦労さん会(買い物)について新たに計画・実践した。

・学部研究授業

紙工班(11月)

木工班(12月)

(3) 高等部

- ・卒業後、社会においてさらに成長することを願い「目指す生徒の姿」を設定した。
- ・題材ごとに学年、学級、習熟度別に学習グループを編成して授業を実施し、研究協議と検討を行った。

・学部研究授業

総合的な学習(探求)の時間

「進路学習」「働くことについて」

(4) 寄宿舎

- ・対象生徒を3名とし、アセスメントチェックシートを使用しながら舎全体で支援の在り方の実践・検討を行った。
- ・学部と支援方法について共通理解が必要な生徒の事例検討会を行った。
- ・本校の進路部長を講師に学習会を行い、卒業生の様子について情報提供を受け、特に寄宿舎で身に付けるべき必要な力について学び理解を深めた。

3 講演会

7月に本校を会場に講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

4 研修会(県外)

- ・第66回全国肢体不自由教育研究協議会
(WEB開催)